

事業番号	10 05 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	諏訪湖等管理費				担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	河川課		
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上		E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
		4	災害に強い地域づくり		実施期間	S63 ~		

1 事業の概要

目指す姿	諏訪湖釜口水門のほか県管理の樋門、水門等河川管理施設の日常の保守管理及び出水時等における操作を確実にかつ適切に実施することにより、流域の水害の防止・軽減、水辺環境の保全、適切な水利用の推進を図る。
------	--

現状 (予算編成時)	<input type="checkbox"/> 日常管理、保守点検により判明した不良箇所を解消し、流域の治水安全を保持している。(H25年度実施:釜口水門気象観測装置の修繕、副水位計の点検) <input type="checkbox"/> 少雨による流入量低下の際は釜口水門で放流量調節を実施し、湖面湖水利用と下流域の水利用の調整を図っている。(H23年度実施) <input type="checkbox"/> 近年、水門樋門の設備不良及び操作不備に起因する浸水被害等は発生していない。
------------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 【左記の説明、根拠法令等】 河川法、諏訪湖釜口水門操作規則 県民との協働による実施:実施は困難
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	出水対応等必要時に水門、樋門等設備の不具合による操作・運転不能事故を生じさせない。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	1. 人件費	直接	・釜口水門職員3名	18,753	18,753	19,092
	2. 管理事務所経費	直接	・水門、樋門、管理事務所光熱費及び消耗品費 ・巡視船、管理用自動車燃料費(巡視船1、自動車1)	8,195	13,463	8,470
3. 釜口水門設備点検等	委託	・釜口水門各設備点検(1施設、1回/年) ・宿日直業務(宿日直121日、宿直244日)	20,873	14,750	21,795	
4. 樋門・排水機場操作委託	委託	・樋門定期点検整備及び操作(53施設、点検8回/年) ・排水機場の設備点検及び保安点検(1機場、点検1回/月)	5,319	5,115	5,684	
5. 用水ポンプ除塵作業委託	委託	・維持用水ポンプ取水部の除塵作業(1施設、作業1回/日)	582	579	667	
6. ゲート・ポンプ点検委託	委託	・調節池のゲート及び排水ポンプ設備の点検(1施設、1回/年)	539	539	536	
合計			54,261	53,199	56,244	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	54,350	51,715	54,261	56,244
	補正予算	0	0	0	
	合計(A)	54,350	51,715	54,261	56,244
	一般財源	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	54,350	51,715	54,261	56,244
	決算額(B)	52,847	51,449	53,199	
概算人員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00	
概算人員費(C)	-	-	-	-	
概算事業費(B(A)+C)	52,847	51,449	53,199	56,244	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
設備不具合による操作・運転不能事故	0件	0件	0件	達成	0件

目標に対する成果の状況	水門・樋門等河川管理施設の不良及び操作不備による水害の発生はなかった。
-------------	-------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成27年度以降も引き続き日常の保守管理を実施するとともに、出水時に適切な水門操作等を行うことで流域の水害の防止、軽減に努める。
--------------------	---